

# シードキューブ成形散布機による不耕起草地更新作業システム

## 研究のねらい

荒廃化の危機にある草地を再編・整備するために、機械作業が困難な急傾斜地を含めて様々な立地条件に柔軟に対応できる草地更新技術が求められている。そこで、急傾斜草地への対応も可能な不耕起草地更新作業システムを開発する。

## 研究の成果

開発されたシードキューブ成形散布機は、流通堆肥、化成肥料、牧草種子等の混合物（表1）を成形して散布するものであるが、それをもちいた作業システム（図1、写真1）により、表面耕起せずに簡易に草地更新できる（写真2）。

従来の機械作業が困難な15度以上の急傾斜地や、牛道が著しく発達した階段状草地でも作業が可能で、急傾斜草地での作業能率は7.0～9.0a/hである。

いろいろな種類の堆肥や混合組成の違う資材でも成形・散布できる。

表1 シードキューブの資材構成

資材	重量Kg
牛糞堆肥	20
豚糞堆肥	16
緩効性窒素肥料	2
ヨウリン	7
重過磷酸石灰	3
珪酸カリ	1
牧草種子	0.4
合計 (Kg/a)	49.4



写真1 作業のようす

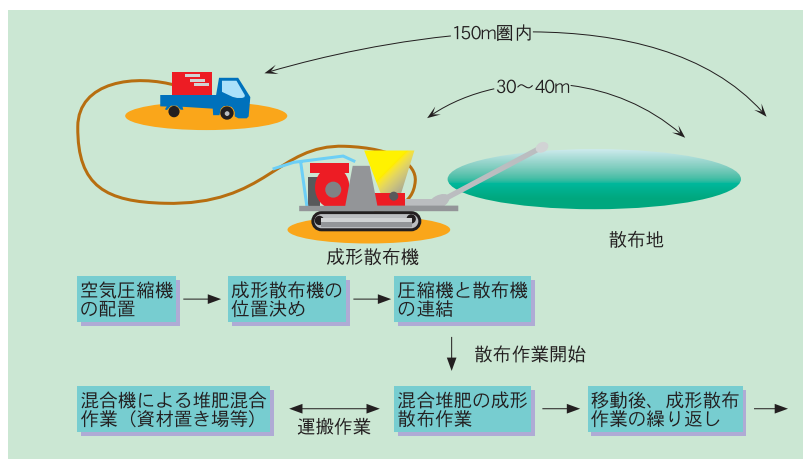


図1 シードキューブ成形散布の作業システム



散布前



散布後

写真2 牧草の定着状況

## 成果の利活用

急傾斜地における資材の運搬作業には、傾斜地適応性の高い運搬手段を使用する。また、混合する資材が多量となる場合には、市販の混合機などの導入により省力化を図ることが望ましい。

## 成果の発表年 平成13年度

(問合せ先：総合研究部 総合研究第2チーム 019-643-3412)